

記載例その1

中小企業等省エネルギー設備導入支援補助金 申請書

申請日 (2024/4/8~
2024/5/22、17時必着)

2024年〇月〇日

一般財団法人旭川産業創造プラザ
理事長 新谷 龍一郎 様

・法人の場合は、法人登記地、個人の場合は納税地で記載
・個人は屋号を記載
・押印不要

(申請者)

所在地 旭川市〇〇 〇丁目〇〇番〇号

企業等名称 サンプル織物

代表者職氏名 代表 産業 つくる

中小企業等省エネルギー設備導入支援補助金を希望するため、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第1号-1「補助事業計画名(30文字以内)」と名称を統一し記載。
※採択時に公表します

1 補助事業計画名 蒸気ボイラーの更新による生産性UPと省エネを実現

2 補助事業実施期間
着手 2024年 〇月 〇日
完了 2024年 〇月 〇日

補助対象期間は、2024年4月1日から2024年12月31日までになり、同期間内に発注・納入・検収・支払等のすべての手続きが完了する補助対象経費が対象となります。

3 総事業費 1,265,000円

4 希望補助額 862,000円 (千円未満切り捨て)

5 添付書類

・補助率 3/4 (上限 200万円) (1,000円未満切り捨て)
・様式1-1事業費の補助申請額と同じ額を記載

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (3) 市税の納税証明書 (市税の滞納のないことの証明書)
- (4) 法人事業概況説明書 (※法人)、または確定申告書第1表 (※個人)
- (5) 直近の決算書
- (6) 履歴事項全部証明の写し (※法人のみ)

個人事業主の場合

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (3) 市税の納税証明書 (完納)
- (4) 確定申告書第一表
- (5) 決算書 (青色又は白色)
- (6) 「2. 補助事業の具体的内容」「3. 年間エネルギー消費量が概ね5%以上低減する設備との比較」に用いたデータを記載したカタログ

法人の場合

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (3) 市税の納税証明書 (完納)
- (4) 決算書
- (5) 法人事業概況説明書
- (6) 履歴事項全部証明書
- (7) 「2. 補助事業の具体的内容」「3. 年間エネルギー消費量が概ね5%以上低減する設備との比較」に用いたデータを記載したカタログ

※その他、見積書などの参考資料があれば任意にて添付

2024年〇月〇日

事業計画書

■申請者

商号又は名称	サンプラ織物			
業種	製造業	創業・設立	〇〇年〇月〇日	
資本金 (法人の場合)	0千円	従業員数	2名	
連絡者	所属	—	職氏名	代表・産業つくる
連絡先	TEL	090-XXXX-YYYY	FAX	—
URL	http://www.			
E-mail	xxxxxxxxxx@sanori.com			
会社概要及び 内外環境分析	<p>まずは、自社がどんな店かを説明します。</p> <p>当店は、社員2人ほどの小さな織物屋です。 昭和〇〇年に創業し、丁寧なものづくりを理念に独自のデザインの商品が評価を受けています。〇〇年には〇〇という商品で▲▲賞を受賞いたしました。 当店では、織物の素材である糸の選定からこだわり、素材感とデザイン性の両立を目指しています。また、すべての作業工程を自社で行い、糸の染色から、紡ぎ、織りまでを手作業で行っていることから、これにより独特な風合いを実現しており、地域の方に使われるだけでなく、贈答品としても喜ばれています。 近年は流通を介した卸売だけでなく、インターネット販売にも挑戦し、昨年度はインターネット販売のみで〇〇千円の売上（全体売上の〇%）を記録しました。また独自の風合いから海外消費者にも受け入れられていることから、今後は海外向けの販売展開も考えていきたいと考えております。</p>			
	工場内の外観	商品の写真		
(千円)				
	R2年12月	R3年12月	R4年12月	R5年12月
売上				
営業利益				
売上の内訳は、流通経由の卸売が主流。コロナ禍による来店機会が減ったことによる減少はありましたが、現在は比較的多くの注文をいただいています。				

こちらには自社の現在の状況（創業から現在まで）と、客観的に見た内部外部環境（自社の強み・弱み・機会・脅威 ※SWOT分析といいます）について記載ください。

写真や表の挿入方法、SWOT分析についてはネットで検索すると情報入手できます。

	当店を取り巻く環境は次の通りです。 当店の内外環境分析（SWOT分析）	
	強み	弱み
	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇受賞の独自のデザイン性 ・すべての作業工程を自社で完結 ・インターネットでの販路 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足・小規模工場による生産数の限界
	機会	脅威
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を経て、観光客が回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場設備の老朽化 ・材料費、燃料費の高騰 ・近隣住民から寄せられる騒音問題

申請者概要（※法人のみ）

株主及び出資者			
主な株主又は出資者		大企業の確認及び出資比率	
①		<input type="checkbox"/>	%
②		<input type="checkbox"/>	%
③		<input type="checkbox"/>	%
④		<input type="checkbox"/>	%
⑤		<input type="checkbox"/>	%

役員一覧表			
役職名	氏名	大企業の確認及び会社名	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	

様式1の補助事業計画名と合わせてください。

※枠内に収まらない場合は別紙で提出して下さい。

■事業計画

補助事業計画名 (30文字以内) ※採択時に公表します	蒸気ボイラーの更新による生産性UPと省エネを実現	
補助事業概要 (100文字以内) ※採択時に公表します	20年使用した蒸気ボイラーを最新式に更新することで、省エネ化と静音化が期待できる。作業工程の融通が可能となることから、生産性の向上と省エネを実現する。	
設備導入場所	施設名	サンプラ織物
	住所	旭川市〇〇南〇条〇丁目〇ー〇

1. 新製品・新サービスの開発や生産性向上に関する課題

織物業は糸を紡ぐ、染色する、乾燥させる、織るという各種工程があり、多量の熱エネルギーを必要とします。特に染色した糸を乾燥させる工程でボイラー（熱エネルギー）を使用しているときは、他の作業がストップしてしまうという課題があります。

当店では、創業時に備えついていた蒸気ボイラーを使用していますが、工場が住宅地近郊にあることから、近隣住民の方からボイラーの音がうるさいとのご意見を複数回頂いたため、現在ボイラーは時間を制限して使用している状態です。

日中に、乾燥工程を行う関係で他の作業がストップしてしまうことも多く、数十種類もある各色の糸を大量に作りおく場所もなく、大きな発注があった際に、この工程が生産上のボトルネックとなっています。

また近年の燃料費高騰が会計を圧迫しており、特にボイラーの燃料費の高騰が令和5年度で前年比〇%増となっており、見直しと改善が急務となっています。

2. 補助事業の具体的内容（課題解決と申請条件達成）及びスケジュール

※新製品・新サービスの開発に必要な性能、又は5%以上の生産性向上を示す根拠となる計算式と説明を記載してください。

●補助事業の具体的内容

今回は工場で使用しているボイラーを「〇〇社製蒸気ボイラー型式△△△△」から最新型の「〇〇社製蒸気ボイラー型式□□□□」に更新します。その間約〇〇年の間で、形式も数回変更されており、当時のボイラーとは静穏性も格段に向上し、燃料消費量も削減が図れるため、騒音問題の解消及び燃料費削減、作業の効率化を目指します。

具体的には新型ボイラーに変更することで、稼働音が従来のもものと比較して〇〇dBほど低減するため、騒音が問題となっていた夜間にもボイラーを稼働させることが可能となる見込みです。これにより、糸の乾燥など無人で行える工程を夜間に集約することで、日中は染色、織り工程を集中して取り組むとった作業を効率化でき、生産性の向上が期待できます。

導入前の設備の写真

導入予定の設備の写真

文字だらけの計画書となると読みにくくなるため、計画書はなるべくイメージ画像や表、グラフなどを用いることを心がけましょう。

●予定する生産性の向上の根拠

【設備導入前後比較】

設備の導入前後でどのような場面にどのような効果（差）があるのか、表にして直感的に比較できるようにするなど、工夫しましょう

	導入前	導入後
乾燥工程にかかる時間(日中)	〇〇時間/日	0時間/日
染め工程に充てられる時間(日中)	〇〇時間/日	〇〇時間/日
生産数	〇〇m ² /日	〇〇 + △△m ² /日

生産性が5%以上向上すると予定している根拠となる数値と、その計算式を書きましょう。

【一日当たりの生産性向上 (%)】

$$○○ + △△㎡ (導入後) \div ○○㎡ (導入前) \times 100 = △△△\% (\square\square\% \text{の向上})$$

●スケジュール

取組内容／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
見積取得			●						
納品				●					
支払					●				
完了報告提出						●			

●実施体制

【内部】

内容	担当			備考
発注	代表	産業	つくる	設備の見積り発注等
経理	代表	産業	つくる	設備の納品・検収・支払い等
導入設備管理・運営	代表	産業	つくる	日常業務での管理・使用等

【外部】

内容	企業名	備考
導入設備保守・保証	○○株式会社	消費エネルギーが5%以上向上すると予定している根拠となる数値と、その計算式を書きましょう。
資金調達	○○信金	

3. 年間エネルギー消費量が概ね5%以上低減する設備との比較

※同じ基準（基準となる時間や生産量等）における消費エネルギーの5%程度の低減を示す根拠となる計算式と説明を記載してください。

	導入機器 (○○社製型式□□□□)	比較対象機器 (○○社製型式△△△△)
消費電力	1300W	1500W

【消費エネルギー効率 (%)】

$$1300 (W) \div 1500 (W) \times 100 = 86.7\% \quad (13.3\% \text{の消費エネルギー低減})$$

4. 補助事業実施（課題解決）によって期待される効果

●本事業を実施することによって得られる効果は以下の○点です。

(1) ボイラーの稼働音低減による騒音問題解決

新ボイラーを導入することで、稼働音が従来のもものと比較して○○dBほど低減するため、近隣住民の方への騒音問題について、一定の解決が図られるものと考えています。

(2) 夜間にボイラーを稼働させることで作業の効率化を実現

従来は日中に生地を乾かす工程でボイラー（熱エネルギー）を使用しているときは、他の作業がストップしてしまうという課題がありました。新ボイラー導入により、騒音問題が発生しやすい夜間にもボイラーを稼働させることが可能となり、乾燥など無人で行える工程を夜間に集約することで、日中は染色、織り等の工程に注力することができるためになり、1日当たり

ここでは「2. 補助事業の具体的内容及びスケジュール」で示した内容により、改善される内容や見込まれる好影響について、論理的かつ具体的に記載してください。

の生産数の増加が見込めます。

●地域への波及効果等

本事業の取組みを実施することにより、地域住民に迷惑をかけずに生産を向上させることが可能となります。生産性の向上を受けて海外向けの販売などにチャレンジし、地域に経済的な波及効果を出していきたいと考えております。

■事業費

(1) 経費明細書

(単位：円)

経費区分 (対象経費の区分)	(A) 事業に要する 経費 (税込みの額)	(B) 補助対象経 費 (税抜き額)	(E) 積算基礎 ((A) 事業に要する経費の内訳 (機械装置名、単価×数量等))	設備等の設置住所 (旭川市春光5-1 等)
設備費	1,265,000	1,150,000	〇〇製蒸気ボイラー 形式△△△△	旭川市〇〇-●
合計額	1,265,000	1,150,000		

補助金は、清算・報告までの全てを完了させたのちに交付されます。したがってこちらには交付までの間の「補助金額」にあたる部分の資金繰りについてご記入ください。

(2) 資金調達内訳

(単位：円)

<補助事業全体に要する経費調達一覧>

<補助を受けるまでの資金>

区分	事業に要する経費	資金の調達先
自己資金	265,000	
補助申請額	862,000	
借入金	138,000	〇〇信金
その他		
合計額	1,265,250	

区分	補助申請額内訳	資金の調達先
自己資金	0	
借入金	862,000	〇〇信金
その他	0	
補助申請額	862,000	

金融機関から100万円借りて残りを自己資金で賄う場合を想定

消費税を除いた補助対象経費から補助率3/4をかけて千円以下切り下げ
 $1150000 \times 3 \div 4 = 862,500$ にて 862,000

■収益計

(1) 今後3年間の収益計画

(単位：千円)

項目	直近の 決算年度 2024年3月	1年後 2025年3月	2年後 2026年3月	3年後 2027年3月
売上高(a)	15,000	15,380	17,325	19,058
売上原価(b)	6,000	6,152	6,930	7,623
売上総利益(c) = (a)-(b)	9,000	9,228	10,395	11,435
経費(d) = (e)+(f)	1,500	1,500	2,000	2,000
人件費(e)	1,000	1,000	1,500	1,500
その他の経費(f)	500	500	500	500
営業利益(g) = (c)-(d)	7,500	7,728	8,395	9,435

(2) 収益計画の算出根拠

前述の収益計画の売上増加等の根拠となる事柄をこちらでご説明ください。

生産量の向上と共に、インバウンド向けに和風や北海道らしいテキスタイルの商品展開を考えていきます。円安などの影響もあるため、現状から毎年10%の売上上昇を見込んでおります。

■補助金等採択及び申請実績（過去3年間）

年度	補助事業名	事業計画名	補助金額
2023年度	小規模事業者持続化補助金	感染症予防に向けた店舗改装とテイクアウトメニューの開発	500,000円

直近3年の間に、国や各自治体、又はそれらに類する団体等から補助金又は助成金を受けている場合には、こちらにその名称等を正確にご記入ください。

- ※ 様式1号-1事業計画書の記入欄は適宜調整し、8ページ以内で作成してください。
- ※ 必要な参考資料等を添付してください
- ※ 説明資料等や図面等があれば添付してください。
- ※ 提出された申請書類等は返却いたしませんので必ず控えを保管ください。